

~ 2021年3月期 ~

Yamagata

Miyagi







2021年6月30日



1.20 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ① ①	21年3月期決算の状況 損益の状況 貸出金の状況 預金(譲渡性預金を含む)の状況 有価証券の状況 預かり資産の状況 各種利回り・利鞘の状況 各種利回り・利鞘の状況 経費・経営効率化の状況 金融再生法開示債権の状況 自己資本比率の状況 ROEの状況	1 3 4 5 6 7 8 9 10 11	3.きらやか銀行の取組みについて ① 中期経営計画の骨子 ② 本業支援戦略 ③ 本業支援の取組み ④ DX推進・SBI連携 4.仙台銀行の取組みについて ① 中期経営計画の骨子 ② コア戦略 ③ コロナ対応と本業支援 ④ SBIグループとの連携・住宅ローンの推進	21 22 23 25 26 27 28 29
2.中	期経営計画の概要		⑤ DX推進〜中長期システム開発方針〜	••• 30
2 1-1-7	WINTED I EIO MA			
1	前計画までの成果と課題	••• 12	5.持続可能な社会の実現に向けた取組み	0.4
2	経営理念と目指す姿	··· 14	じもとグループのESG・SDGs	••• 31
3	計画の基本方針と施策	••• 15		
4	収益計画及び経営指標	••• 19		
<u>.</u>	新役員体制	20	6.業績予想と配当計画	
		20	2022年3月期業績予想と配当計画	••• 32

1. 2021年3月期 決算の状況



① じもとホールディングス連結

(単位:百万円、%)

_									
						2021年3月期			2020年3月期
						2021年3月期	前年同期比	増減率	2020年3月期
連	結	経	常	収	益	44,089	1,735	4.0	42,354
経	常		利		益	△ 2,275	△ 4,847	-	2,571
親当	会 社 初期		Eに帰 純	制属	する 益	△ 3,176	△ 4,910	-	1,733

● じもとホールディングスの連結経常収益は440億89百万円となりました。

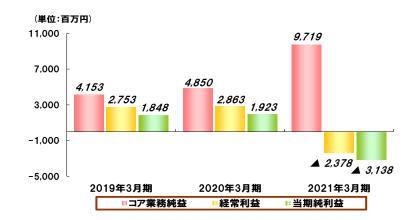
● 経常利益は、きらやか銀行において、有価証券ポートフォリオの見直しに伴い有価証券償還損等の損失を計上したことや、与信関係費用が増加したことから、前年同期比48億47百万円減少の△22億75百万円。親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比49億10百万円減少の△31億76百万円となりました。

② 2行合算

(単位:百万円、%)

_									(+	立:日万円、%)
							2021年3月期	前年同期比	増減率	2020年3月期
経		常		収		益	38,762		4.4	37,095
業		務	粗	利	IJ	益	25,230	△ 3,005	△ 10.6	28,236
	資	金		利		益	27,771	1,874	7.2	25,897
	役	務取	引	等	利	益	2,426	689	39.6	1,737
	そ	の他	業	務	利	益	△ 4,968	△ 5,569	•	601
		うち国	債 等	債	券 損	益	△ 7,549	△ 7,021	-	△ 528
経	費	(除く	臨時	処	理分)	23,060	△ 853	△ 3.5	23,914
	う	ち	人	ť	‡	費	11,531	△ 296	△ 2.5	11,827
	う	ち	物	ť	‡	費	9,627	△ 656	△ 6.3	10,283
実	賃	1 業務	純益	± (注 1)	2,170	△ 2,151	△ 49.7	4,321
	□.	ア業務	純	益(注 2)	9,719	4,869	100.3	4,850
		除く投う	食信言	托解	約損	益	7,461	3,651	95.8	3,810
	般	賃 倒 🤄	引当	金钅	繰 入	額	1,289	306	31.1	983
業		務		純		益	880	△ 2,458	△ 73.6	3,338
臨		時		損		益	△ 3,259	△ 2,783	-	△ 475
	う	ち不良	債	権り	ひ 理	額	2,760	2,170	368.2	589
		うち個別1	美倒引	当金	繰入額	Ą	2,404	2,840	-	△ 436
	う	ち貸倒	引当	金	戻入	益	-	-	-	-
	う	ち株式	等	関係	系 損	益	△ 124	32	-	△ 156
経		常		利		益	△ 2,378	△ 5,241	-	2,863
特	i	別		損		益	△ 345	△ 2	-	△ 343
当		期	純	利	J	益	△ 3,138	△ 5,061	-	1,923
与		信 関	係	Ę.	費	用	4,001	2,467	160.7	1,534

- 2 行合算の経常収益は、前年同期比16億67百万円増加の387億62百万円(増減率 4.4%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、貸出金利息及び手数料収入が増加したほか、投資信託解約益の計上や住宅ローン債権の証券化を実施したことなどから、前年同期比48億69百万円増加の97億19百万円(増減率100.3%)となりました。
- 経常利益は、前年同期比52億41百万円減少の△23億78百万円、当期純利益は前年 同期比50億61百万円減少の△31億38百万円となりました。



- (注1)実質業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)
- (注2)コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益



③ きらやか銀行単体

(単位:百万円、%)

				0001450 8 #8			0000Æ3 E #		
						2021年3月期	前年同期比	増減率	2020年3月期
経	<u> </u>	常		収	益	22,335	1,603	7.7	20,732
業	t.	務	粗	利	益	12,083	△ 4,835	△ 28.5	16,919
	資	金	È	利	益	15,187	699	4.8	14,487
		うち1	当 貨	金和	引息	12,312	△ 34	△ 0.2	12,346
		うち有価	証券	利息配	出当金	3,010	732	32.1	2,278
	役	務取	引	等利	リ益	1,584	204	14.8	1,379
	そ	の他	業	務和	リ益	Δ 4,687	△ 5,739	-	1,052
		うち国	債等	債券:	損益	△ 7,194	△ 7,133	-	△ 60
経	費	(除く	臨時	処理	分)	12,730	Δ 787	△ 5.8	13,518
	う	ち	人	件	費	6,330	△ 245	Δ 3.7	6,575
	う	ち	物	件	費	5,428	△ 552	△ 9.2	5,981
実	質	業務糾	益(注1)		△ 647	△ 4,048	-	3,400
	\Box	ア業務	务純	益(注	主 2)	6,547	3,085	89.1	3,461
		(除く投	資信	迁解約	損益)	4,377	1,314	42.9	3,063
1	<u> </u>	般貸倒	引当	金繰	入額	827	533	181.9	293
業	ţ	務		純	益	△ 1,474	△ 4,581	-	3,107
臨	<u> </u>	時		損	益	Δ 2,889	△ 1,460	-	△ 1,428
	2	うち不	良債	権処	理額	2,415	1,547	178.1	868
		うち個別	貸倒	引当金網	桑入額	2,264	2,013	803.1	250
	ゔ	ち貸倒	引当	金戻人	益/	-	-	-	-
	う	ち株式	等	関係	損益	△ 132	348	-	△ 480
経	<u> </u>	常		利	益	A 4,364	△ 6,042	-	1,678
特	F	別		損	益	△ 335	△ 305	-	△ 30
当	i	期	純	利	益	4.855	△ 5,959	-	1,103
与		信 関	係	音	用	3,242	2,118	188.4	1,124
7		1日 大	171	、頁	713	3,242	2,110	100.4	1,124

(注1) 実質業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)

(注2) コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益

- 経常収益は、有価証券利息配当金等の資金利益が増加したことなどから、前年同期比 16億3百万円増加の223億35百万円(増減率7.7%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、手数料収入増加や経費削減の他、投資信 託解約益の計上、住宅ローン債権の証券化を実施したことなどから、前年同期比30億 85百万円増加の65億47百万円(増減率89.1%)となりました。
- 有価証券ポートフォリオの見直しに伴い、債券償還損失等を計上したことから、国債 等債券損益は前年同期比71億33百万円減少となりました。
- 与信関係費用は、コロナ禍の影響や一部取引先の業況不振に応じて引当金を計上した こと等から、前年同期比21億18百万円増加の32億42百万円となりました。
- この結果、経常利益は前年同期比60億42百万円減少の△43億64百万円、当期純利益 は前年同期比59億59百万円減少し、△48億55百万円となりました。

④ 仙台銀行単体

(単位:百万円、%)

_				(手位・日ガロ、70)						
				2021年3月期	前年同期比	増減率	2020年3月期			
6 .	646	der	-+-	46.426			46.262			
経	常		<u>益</u>	16,426		0.3	16,362			
業	務 粗		<u>益</u>	13,146	1,829	16.1	11,316			
]	全	利	益	12,584	1,174	10.2	11,409			
	うち貸			9,984	510	5.3	9,473			
l L	うち有価証			2,660	617	30.2	2,042			
<u> </u>	殳務 取			842	484	135.3	358			
-7	そ <u>の他</u> :	業務利	<u>」益</u>	Δ 280	170	-	△ 451			
	うち国債	等債券	損益	△ 354	112	-	△ 467			
経	費(除く臨	時処理	分)	10,329	△ 66	△ 0.6	10,395			
ڊ	うちん	人件	費	5,200	∆ 51	△ 0.9	5,252			
-	5 5 1	匆 件	費	4,198	△ 103	△ 2.4	4,302			
実質	質業務純益	(注1)		2,817	1,896	205.7	921			
	コア業務	純益(注	E2)	3,172		128.3	1,389			
	(除く投資(言託解約指	(益)	3,083	2,337	312.8	746			
1)-	一般貸倒引	当金繰	入額	462	△ 227	△ 32.9	689			
業	務	純	益	2,355	2,123	916.9	231			
臨	時	損	益	△ 369	△ 1,322	-	952			
2	②うち不良	債権処	理額	344	623	-	△ 279			
	うち個別貸付	到引当金繰	入額	139	826	-	△ 687			
C	貸倒償却引	当費用①	+2)	807	396	96.4	410			
3	ち貸倒引	当金戻	入益	-	-	-	-			
	うち株式等	穿関係	員益	8	∆ 315	△ 97.4	324			
経	常	利	益	1,985	800	67.6	1,184			
特	別	損	益	△ 10	302	-	Δ 312			
当	期網	利	益	1,717	897	109.5	819			
与	信関	係費	用	758	348	84.8	410			

(注1) 実質業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)

(注2) コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益

経常収益は、株式等売却益が減少したものの、貸出金利息及び有価証券利息配当金 の増加により資金運用収益が増加したことなどから、前年同期比64百万円増加の 164億26百万円(増減率0.3%)となりました。

- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、貸出金利息及び有価証券利息配当金の 増加による資金利益の増加に加え、役務取引等利益の増加などにより、前年同期比 17億83百万円増加の31億72百万円(増減率128.3%)となりました。
- 与信関係費用は、個別貸倒引当金繰入額の増加などにより、前年同期比3億48百万 円増加の7億58百万円となりました。
- 経常利益は前年同期比8億円増加の19億85百万円、当期純利益は前年同期比8億97百 万円増加の17億17百万円となりました。

① 2行合算

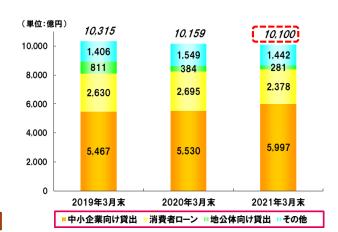
(単位:億円) 20.000 18,468 17.658 17.673 1.864 2.070 2.146 986 16,000 1.001 1.594 4.982 5.120 12.000 4.819 8.000 10,634 9.173 9.405 4.000 2019年3月末 2020年3月末 2021年3月末 中小企業向け貸出 消費者ローン □地公体向け貸出 □その他

(単位:百万円、%)

								(早)	位:日万円、%)
						2021年3月末	2020年 3月末比	増減率	2020年3月末
貸	出	金	(末	残) 1,846,804	79,406	4.4	1,767,398
	うち	中小红	è業I	句け貸	出残高	1,063,478	122,914	13.0	940,563
	うち	消費者	5 0-	ン		498,232	Δ 13,832	Δ 2.7	512,065
		うち住	宅口	ーン		456,393	Δ 11,192	Δ 2.3	467,585
	うち	地方が	\#I	引体位	け貸け	98 625	۸ 1 534	۸15	100 159

● 2行合算の貸出金残高は、2020年3月末比794億6 百万円 増加の1兆8.468億4百万円となりました。

② きらやか銀行

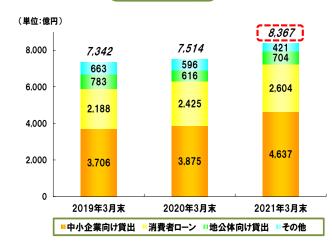


(単位:百万円、%)

											(+	位・日ルロ、20/
							2021年3月末	2	020年			2020年3月末
									月末比	增加		
貸	_ #	金	(末	残)	1,010,025		△ 5,896		Δ 0.5	1,015,921
	31	中小1	企業「	句け貨	出残	Ē	599,743		46,738		8.4	553,005
	うち消費者ローン						237,823	- 4	∆ 31,688		Δ 11.7	269,511
		うち住	宅口	ーン			221,710	- 4	∆ 30,385		Δ 12.0	252,096
	うせ	- 地方4	2)#F	可体质	かけ貸り	#	28 182		A 10 298		A 26 7	38 480

- 貸出金残高は、中小企業向け貸出が増加したものの、消費者ローンが減少したことなどから、2020年3月末比58億96百万円減少の1兆100億25百万円となりました。
- 中小企業向け貸出は、本業支援や新型コロナウイルス関連の資金需要に積極的に対応したことなどから、2020年3月末比467億38百万円増加の5.997億43百万円となりました。
- 消費者ローンは、住宅ローン債権の証券化を実施したことなどから、2020年3月末比316億88百万円減少の2,378億23百万円となりました。

③ 仙台銀行



(単位:百万円、%)

										·	T - 11 22 1 37 1 07
							202	1年3月末	2020年 3月末比	増減率	2020年3月末
貸	出金(末残)						V	836,779	85,302	11.3	751,476
	うち中小企業向け貸出残高							463,735	76,176	19.6	387,558
	うち	うち消費者ローン						260,409	17,855	7.3	242,554
		うち住宅ローン						234,682	19,192	8.9	215,489
	うち	うち地方公共団体向け貸出						70,443	8,763	14.2	61,679

- 貸出金残高は、2020年3月末比853億2百万円増加 の8,367億79百万円となり、仙台銀行として過去 最高の貸出金残高となりました。
- 中小企業向け貸出は、新型コロナウイルス感染症 関連の資金需要へ積極的に対応したことから、 2020年3月末比761億76百万円増加の4,637億35百 万円となりました。
- 消費者ローンは、住宅ローンの増加により、2020 年3月末比178億55百万円増加の2,604億9百万円 となりました。
- 地方公共団体向け貸出は、2020年3月末比87億63 百万円増加の704億43百万円となりました。



③預金(譲渡性預金を含む)の状況

① 2行合算

(単位:億円) 24,705 23.216 23.204 25.000 2.079 2,093 2,189 20.000 6.577 6.009 5.895 15.000 10.000 15.978 15.043 15.063 5.000 2019年3月末 2020年3月末 2021年3月末 ■個人預金 法人預金 ■公金預金

② きらやか銀行



③ 仙台銀行



(単位:百万四 %)

			(早1)	1:日万円、%)
	2021年3月末	2020年 3月末比	増減率	2020年3月末
預金(譲渡性預金含む)(末残)	2,470,525	148,895	6.4	2,321,629
うち個人預金	1,597,833	91,530	6.0	1,506,302
うち法人預金	657,723	68,125	11.5	589,598
うち公全碩全	207 987	A 10 924	۸ 4 9	218 912

(単位:百万円、%)

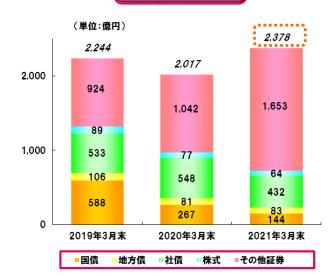
			21年3月末 2020年 増減率		
		2021年3月末			2020年3月末
預金	金(譲渡性預金含む)(末残)	1,276,558	55,283	4.5	1,221,274
	うち個人預金	883,295	37,831	4.4	845,464
	うち法人預金	376,885	18,784	5.2	358,101
	うち公金預金	12,591	Δ 1,783	Δ 12.4	14,374

(単位:百万円、%)

		2021年3月末	2020年 3月末比	増減率	2020年3月末	
預釒	を(譲渡性預金含む)(末残)	1,193,967	93,612	8.5	1,100,355	
	うち個人預金	714,537	53,699	8.1	660,838	
	うち法人預金	280,838	49,341	21.3	231,497	
	うち公金預金	195,396	Δ 9,141	Δ 4.4	204,537	

- 2行合算の預金残高は、2020年3月末比1,488億95 百万円増加の2兆4,705億25百万円となりました。
- 預金残高は、新型コロナウイルス感染症に伴う特別定額給付金等によって2020年3月末比552億83百万円増加の1兆2.765億58百万円となりました。
- 個人預金は、2020年3月末比378億31百万円増加 の8.832億95百万円となりました。
- 法人預金は、新型コロナウイルスの影響により手 元資金を確保する動きが見られたことなどから、 2020年3月末比187億84百万円増加の3,768億85百 万円となりました。
- 預金残高は、新型コロナウイルス感染症による特別定額給付金や融資金の歩留まり等により、 2020 年3月末比936億12百万円増加の1兆1,939億67百万円となりました。
- 個人預金は、2020年3月末比536億99百万円増加の 7,145億37百万円となりました。
- 法人預金は、2020年3月末比493億41百万円増加の 2.808億38百万円となりました。
- 公金預金は、2020年3月末比91億41百万円減少の 1,953億96百万円となりました。

① きらやか銀行





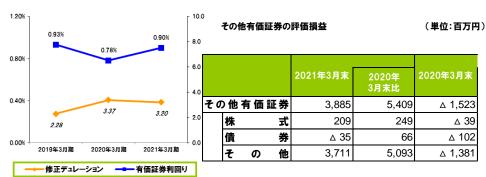
その他有価証券の評価損益 (単位:百万円)

				2021年3月末	2020年 3月末比	2020年3月末
その他有価証券		△ 2,679	930	Δ 3,610		
	株		其	212	359	△ 146
	債		券	△ 138	∆ 338	200
	そ	Ø	他	△ 2,754	909	△ 3,664

- 有価証券残高は、SBIグループとの提携のもと運用ポートフォリオの見直しを実施したことなどから、2020年3月末比360億59百万円増加の2,378億54百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、ポートフォリオ見直しに伴う損失を計上する一方、海外金利上昇等により26億79百万円の評価損となりました。

② 仙台銀行



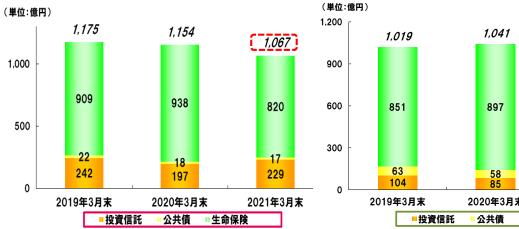


- 有価証券残高は、投資環境や市場動向を踏まえ、SBIグループとの提携のもとポートフォリオの見直しを実施したことにより、2020年3月末比488億85百万円増加の3,063億97百万円となりました。
- 上記見直しの結果、その他有価証券の評価損益は、投資信託の評価益の増加を主因として2020年3月末比54億9百万円改善し、38億85百万円の評価益となりました。

① 2行合算



② きらやか銀行



③ 仙台銀行



(単位:百万円、%)

					2020年3月末	
		2021年3月末	2020年 3月末比	増減率		
預7	かり資産(末残)	200,174	Δ 19,439	Δ 8.8	219,613	
	うち投資信託	33,194	4,836	17.0	28,358	
	うち公共債(国債等)	7,124	△ 529	∆ 6.9	7,653	
	うち生命保険	159.854	Δ 23.746	Δ 12.9	183,601	

(単位:百万円、%)

		2021年3月末	2020年 3月末比	増減率	2020年3月末
預力	かり資産(末残)	106,782	Δ 8,639	Δ 7.4	115,422
	うち投信信託	22,911	3,137	15.8	19,774
	うち公共債(国債等)	1,788	△ 45	∆ 2.4	1,833
	うち生命保険	82,083	Δ 11,731	Δ 12.5	93,815

(単位:百万円、%)

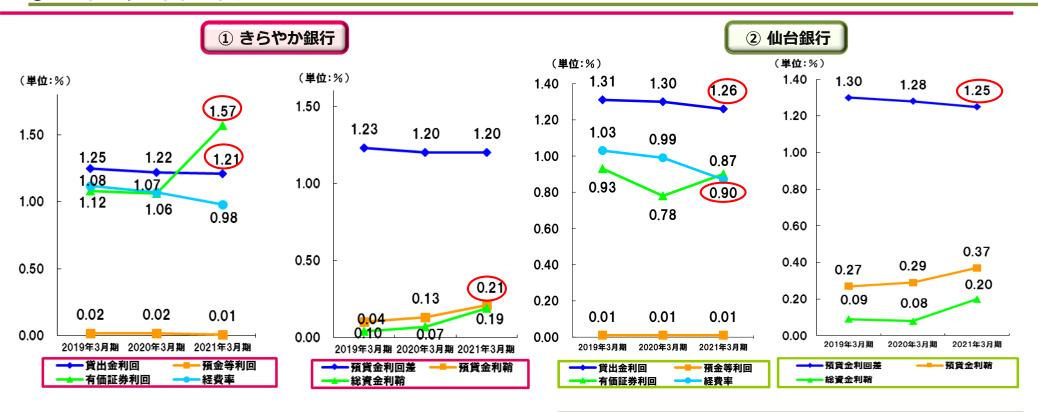
		2021年3月末	2020年 3月末比	増減率	2020年3月末	
預7	かり資産(末残)	93,391	Δ 10,799	Δ 10.3	104,190	
	うち投資信託	10,283	1,699	19.7	8,584	
	うち公共債(国債等)	5,336	△ 483	Δ 8.3	5,820	
	うち生命保険	77,771	Δ 12,014	Δ 13.3	89,786	

● 2行合算の預かり資産残高は、2020年3月末比 194億39百万円減少の2.001億74百万円となりま した。

- 預かり資産残高は、2020年3月末比86億39百万 円減少の1,067億82百万円となりました。
- 投資信託は、2020年3月末比31億37百万円増加 の229億11百万円となりました。
- 公共債は、2020年3月末比45百万円減少の17億 88百万円となりました。
- 生命保険は、2020年3月末比117億31百万円減 少の820億83百万円となりました。

- 預かり資産残高は、2020年3月末比107億99百万 円減少の933億91百万円となりました。
- 投資信託は、お客さまの資産運用ニーズへの対 応により2020年3月末比16億99百万円増加の102 億83百万円となりました。
- 公共債は、2020年3月末比4億83百万円減少の53 億36百万円となりました。
- 生命保険は、2020年3月末比120億14百万円減少 の777億71百万円となりました。

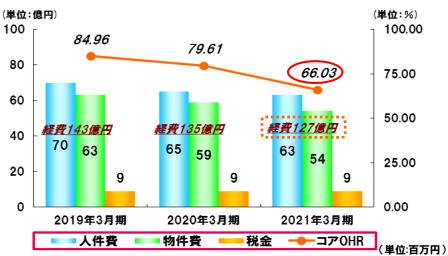




- 貸出金利回 1.21% (前年同期比0.01%低下) コロナウイルス関連資金の低金利制度融資への積極対応により 貸出金利回りが低下しました。
- 有価証券利回 1.57% (前年同期比0.51%上昇) 有価証券ポートフォリオの見直し等に伴って投信解約益を計上した こと等から有価証券利回りが上昇しました。
- 預貸金利鞘 0.21%(前年同期比0.08p上昇) 貸出金利回りは低下したものの、資金調達原価が低下したことか ら、前年同期比プラスとなりました。

- 貸出金利回 1.26%(前年同期比0.04%低下) コロナウイルス関連資金や住宅ローンへの積極的な貸出により貸出金 利回りが低下しました。
- 有価証券利回 0.90%(前年同期比0.11%上昇) SBIグループと連携し、有価証券ポートフォリオの大幅な見直しを 実施した 効果により、 有価証券利回りが改善しました。
- 預貸金利鞘 0.37%(前年同期比0.08p上昇) 貸出金利回りは低下したものの、資金調達原価が低下したことから、 前年同期比プラスとなりました。

① きらやか銀行



	2019年3月末	2020年3月末	2021年3月末
一人当たり預金	1,313	1,310	1,445
一人当たり貸出金	1,071	1,090	1,143
一店舗当たり預金	20,392	19,698	21,276
一店舗当たり貸出金	16,638	16,386	16,834
店舗数(店)	62	62	60
行員数(人)	963	932	883

※店舗数については、ブランチ・イン・ブランチ実施店を1店舗として計上。 インターネット支店1か店を含む。

※行員数は、正行員数で出向者を除く

- 経費は次の要因により、前年同期比7億87百万円減少の127億30百万円となりました。
- ・人件費: 職員数の減少等により、前期比▲2億45百万円
- ・物件費:システム投資の減価償却剥落等により前期比▲5億53百万円
- コアOHRは経費の減少等により、13.58ポイント低下の66.03%となりました。

② 仙台銀行



	2019年3月末	2020年3月末	2021年3月末
一人当たり預金	1,419	1,511	1,626
一人当たり貸出金	986	1,032	1,140
一店舗当たり預金	18,860	21,160	23,879
一店舗当たり貸出金	13,111	14,451	16,735
店舗数(店)	56	52	50
行員数(人)	744	728	734

※店舗数については、ブランチ・イン・ブランチ実施店を1店舗として計上。

※行員数は、正行員数で出向者を除く

- 経費は次の要因により前年同期比66百万円減少の103億29百万円と なりました。
- ・人件費:人員減等により前期比▲51百万円
- ・物件費:全体的な経費削減取組みにより前期比▲1億3百万円
- コアOHRは、コア業務粗利益の増加、経費の減少により、前年同期比 11.71ポイント低下の76.50%となりました。
- 店舗はブランチ・イン・ブランチ化を進め、2ヵ店を統合しました。

① 2行合算

(単位:億円) (単位:%) 4.00 452 3.00 370 400 364 2.40 2.00 2.06 2.04 200 1.00 0.00 2019年3月末 2020年3月末 2021年3月末 → 総与信に占める割合 金融再生法開示債権残高

1金融再生法開示債権残高

与 信

(A / B)

					2021年3月末	2020年 3月末比	2020年3月末
破産	更生債権及	なびこれ	1らに準ずる	る債権	3,919	△ 55	3,975
危	険		債	権	35,374	7,886	27,488
要	管	理	債	権	5,942	375	5,567
	合	計	(A)		45,237	8,206	37,031
正	常		債	権	1,834,574	76,838	1,757,736

2.40

(単位:百万円、%)

85,044 1,794,767

(単位・百万四%)

2.06

0.34

②全融車生法開示債権の保全状況(2021年3日末)

額

②並取行工公開小貨権の休工状況(2021年0万米) (千世・日ガラ、/0										
					債権額	保全額			保全率	
					(A)	(B)	担保保証等	貸倒引当金	(B/A)	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権			3,919	3,919	2,427	1,492	100.00			
危	険		債	権	35,374	28,713	23,819	4,893	81.16	
要	管	理	債	権	5,942	2,030	1,703	327	34.16	
	<u> </u>		計		45 237	34 663	27 950	6 713	76 62	

(B) 1.879.812

- 金融再生法開示債権の残高(要管理債権以下の合計額)は、2020年3月末比82億6百万円増加の452億37百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2020年3月末比0.34ポイント上昇の2.40%となりました。

② きらやか銀行



①金融再生法開示債権残高

(単位:百万円、%) 0年 2020年3月末

					2021年3月末	2020年 3月末比	2020年3月末
破産夏	恒生債権	及びこれ	らに準	ずる債権	2,911	693	2,218
危	険		債	権	15,907	4,425	11,482
要	管	理	債	権	2,722	Δ 58	2,781
	合	計	(A)	21,541	5,059	16,482
正	常		債	権	1,014,435	Δ 7,257	1,021,693
総	与	信	額	(B)	1,035,977	△ 2,198	1,038,175
	(/	4 /	B)		2.07	0.49	1.58

(2	②金融再生法開示債権の保全状況(2021年3月末)							(単位:百万円、%)			
						債権額	保全額			保全率	
						(A)	(B)	担保保証等	貸倒引当金	(B/A)	
穏	姓 更 生	主債権 及	とびこれ	れらに準ず	る債権	2,911	2,911	1,559	1,352	100.00	
fê	Ì	険		債	権	15,907	9,959	8,278	1,681	62.61	
3	Ę	管	理	債	権	2.722	547	283	263	20.09	
		合		計	(21,541	13,418	10,121	3,296	62.29	

- 金融再生法開示債権の残高(要管理債権以下 の合計額)は、取引先の業況悪化に伴う債務 者区分の変更等から、2020年3月末比50億59 百万円増加の215億41百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2020年3月末比0.49 ポイント上昇し2.07%となりました。

③ 仙台銀行



①金融再生法開示債権残高

(単位:百万円、%)

					2021年3月末	2020年 3月末比	2020年3月末
破産更	E生債権	及びこれ	らに準	ずる債権	1,008	△ 748	1,756
危	険		債	権	19,467	3,461	16,006
要	管	理	債	権	3,219	433	2,786
	合	計	(A))	23,695	3,146	20,548
Œ	常		債	権	820,139	84,096	736,042
総	与	信	額	(B)	843,835	87,243	756,591
	()	4 /	B)		2.80	0.09	2.71

②金融再生法開示債権の保全状況(2021年3月末)

(単位:百万円、%)

					債権額	保全額			保全率
					(A)	(B)	担保保証等	貸倒引当金	(B/A)
破産更	生債権及	とびこれ	らに準ず	る債権	1,008	1,008	868	139	100.00
危	険		債	権	19,467	18,753	15,540	3,212	96.33
要	管	理	債	権	3.219	1,483	1,419	64	46.06
	合		計		23,695	21,244	17,828	3,416	89.65

- 金融再生法開示債権の残高(要管理債権以下 の合計額)は、新型コロナウイルス感染症の 影響に伴う取引先のランクダウン等により、 2020年3月末比31億46百万円増加の236億95 百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2020年3月末比 0.09ポイント上昇の2.80%となりました。

① じもとホールディングス連結

② きらやか銀行

③ 仙台銀行







(単位:%)

			(
	2021年 3月末	2020年 3月末比	2020年 3月末
連結自己資本比率	8.12	0.05	8.07

2021年 3月末 2020年 3月末 3月末 自己資本比率[単体] 8.09 0.08 8.01 自己資本比率[連結] 7.97 0.10 7.87 (単位:%)

			1 1 - 1
	2021年 3月末	2020年 3月末比	2020年 3月末
自己資本比率【単体】	8.34	0.00	8.34
自己資本比率【連結】	8.34	△ 0.01	8.35

● じもとホールディングスの連結自己資本比率は 8.12%となりました。

● 単体の自己資本比率は、じもとホールディングスとSBIホールディングスの資本業務提携に伴って30億円の資本調達を実施したことなどから、2020年3月末比0.08ポイント上昇の8.09%となりました。

● 単体の自己資本比率は、当期純利益の計上及び じもとホールディングスとSBIホールディングス の資本業務提携に伴う5億円の増資により自己資 本(分子)が増加した一方で、貸出金の増加等 によりリスクアセット(分母)が増加したこと から、2020年3月末と同水準の8.34%となりました。

① 2行合算 (単位:%) (単位:百万円) 4.000 4.00 3.19 2.88 3.00 1.59 2,000 1.66 2.00 0.76 1.00 3,711 1,848 880 3,338 1,923 0.00 2020年3月期 2019年3月期 2021年3月期 Δ 1.00 △ 3,138 -2.000△ 2.00 △ 3.00 $\Delta 2.71$ -4.000 △ 4.00 業務純益 当期純利益 **→**ROE(業務純益ベース) → ROE(当期純利益ベース)

② きらやか銀行

(単位:百 5,000	4 63	(単位: %) 「6.00
	3.77	4.00
2,500	1.49	2.00
	2.551 1.008 3.107 1.103 A 2.24	0.00
0 -	2,551 11000 3,101	Δ 2.00
	2019年3月期 2020年3月期 2021年3月 2019年3月 2021年3月	AB
-2,500	Δ 4,	855 - △ 6.00
	Δ 7.40	Δ 8.00
-5,000	_ ///	Δ 10.00
Г	業務純益 当期純利益	
L	──ROE(業務純益ベース)	利益ベース)
		(単位:%)

③ 仙台銀行

2,000 1,000 2.38 1,000 1,72 1,68 2,355 1,717 2,000 2019年3月期 2020年3月期 2021年3月期	(単位:百万 3,000	円)						(単位:%)
1,000 1.72 1.68 2.00 0 1.160 840 231 819 2,355 1.717 0.00	2,000							- 4.00
0.00	1,000		2					2.00
	0	1,160	840	231	819	2,355	1,717	0.00
		2019年	3月期	2020年	3月期	2021年	■3月期	
業務純益 当期純利益		業務純	益		<u> </u>	当期純利益		
	L	►ROE(業務純益	ベース)	→ F	OE(当期	純利益^	(ース)

(単位:%)

 2021 3月期
 2020 3月期比
 2020 3月期比

 第務純益ベース
 0.76
 Δ 2.12
 2.88

 当期純利益ベース
 Δ 2.71
 Δ 4.37
 1.66

	_			
		2021 3月期	2020 3月期比	2020 3月期
ROE	業務純益ベース	△ 2.24	△ 6.87	4.63
NOE	当期純利益ベース	△ 7.40	△ 9.04	1.64

 2021 3月期
 2020 3月期比
 2020 3月期比
 3月期

 ROE
 業務純益ベース 当期純利益ベース
 4.71 3.43
 4.24 1.75
 0.47 1.68

- 2021年3月期の2行合算のROE 業務純益ベース 0.76%(前年同期比△2.12p) 当期純利益ベース △ 2.71%(前年同期比△ 4.37p)
- 2021年3月期のきらやか銀行のROE 業務純益ベース △ 2.24%(前年同期比△6.87p) 当期純利益ベース △ 7.40%(前年同期比△9.04p)
- 2021年3月期の仙台銀行のROE 業務純益ベース 4.71%(前年同期比4.24p) 当期純利益ベース 3.43%(前年同期比1.75p)

(単位:%)

2. 中期経営計画の概要

- ■当社グループは、設立以来、「本業支援」と「統合効果」を中期経営計画の主題とし、中長期的な取り組みを継続してまいりました。
- ■これまでにグループ体制整備とノウハウ共有を通じ、宮城と山形をつなぎ、復興支援と中小企業支援、効率化を実現いたしました。
- ■一方で「収益力」は、マイナス金利政策の影響等で逓減。2020年度は有価証券運用再構築の損失により赤字決算となるに至りました。

	HD設立時計画 (2012~2014)	HD中期経営計画 ① (2015~2017)	HD中期経営計画 ② (2018~2020)	HD中期計計画(新) (2021~2023)
	東日本大震災復興支援、中小企業成長支援		コロナ禍による環境激変	
主	◆本業支援 ・東日本大震災復興支援 ・HD本業支援戦略部の設置 ・宮城と山形をつなぐ運動 ・本業支援研修会	◆本業支援 ・東京TYFG提携 (きらぼしFG) ・仙台合同新規開拓チーム ・じもと創生本業支援ファンド	◆本業支援 ・中小企業成長戦略(両行) ・仙台地区営業戦略 ・新型コロナ資金繰り支援	<計画策定の視点> コロナ禍で 社会環境が激変
題と成	◆統合効果 ・サブシステム統一 ・コスト削減コンサル導入	◆統合効果 ・勘定系システム統一 ・新事務センター業務委託	◆統合効果 ・市場金融部オフィス集約 ・市場バックオフィス統一	* グループ経営理念を 改めて徹底 宮城と山形をつなぎ 本業支援を通じて
果	◆経営管理 ・本部組織、会議運営統一 ・法令改正へ共同対応	◆経営管理 ・グループ規程統一 ・経費削減	◆経営管理 ・監査等委員会設置会社移行 ・SBI資本業務提携	中小企業に貢献 ↓ ガバナンス態勢、
連結利益	57億円(2014年度)	34億円(2017年度)	▲31億円(2020年度)	経営基盤を強化、収益回復へ

①前計画までの成果と課題(収益計画と経営指標)

- ■コア業務純益とコアOHRは、貸出金利息や役務取引等収益の増加、投資信託の解約益計上等により計画目標を達成しました。
- ■当期純利益は、有価証券運用再構築に伴う評価損の処理、コロナ禍での与信関係費用の増加等により、大幅未達で赤字決算となりました。
- ■預金平残は、コロナ禍での特別給付金や融資金の歩留まりもあり、計画目標を大きく上回りました。
- ■貸出金平残は、本業支援を通じたコロナ資金へ積極的に対応したことから、計画目標を達成しました。
- ■自己資本比率は、SBIホールディングスから35億円の増資を受けましたが、リスクアセットが増加。計画目標は未達となりました。
- ■顧客向けサービス利益は、中小企業貸出や役務取引等利益の増加、経費削減等の効果により、計画目標を大幅に上回りました。

前中期経営計画の収益計画と経営指標の状況

7 AD/- A 45	=== /==	2018/3期	2019/3期	2021/3期				
子銀行合算	評価	始期	実績	実績	実績	計画目標	目標比	
コア業務純益	\bigcirc	44億円	41億円	48億円	97億円	62億円	34億円	
当期純利益	×	34億円	18億円	19億円	▲31億円	40億円	▲71億円	
コアOHR	\bigcirc	85.27%	85.74%	83.13%	70.34%	79.95%	▲ 9.61P	
預金平残	\bigcirc	23,131億円	23,063億円	22,974億円	24,738億円	24,020億円	+717億円	
貸出金平残	\bigcirc	16,689億円	17,029億円	17,505億円	18,214億円	17,955億円	+258億円	
自己資本比率	\triangle	8.70%	8.39%	8.07%	8.12%	8.35%	▲ 0.23P	
顧客向けサービス業務利益 (始期比の増加額)		▲28億円 (–)	▲15億円 (+13億円)	▲7億円 (+21億円)	15億円 (+43億円)	1億円 (+29億円)	14億円 (+14億円)	

顧客向けサービス業務利益=貸出金残高×預貸金利回差+役務取引等利益-営業経費



- ■当グループの経営理念は、「宮城と山形をつなぎ、本業支援を通じて、地元中小企業や地域に貢献する」ことです。
- ■新中期経営計画(2021年~2023年)では、コロナ禍の対応を重要課題とし、次の5年・10年後も見据えて「本業支援の深化」「業務変革(DX)」「経営管理」を計画の3本柱としました。
- ■当グループは、本計画を通じて、これまで以上にお取引先の業況改善や地域発展に貢献することで、当グループの収益改善にもつなげる 「共通価値の創造」を実現すべく全力で取り組んでまいります。

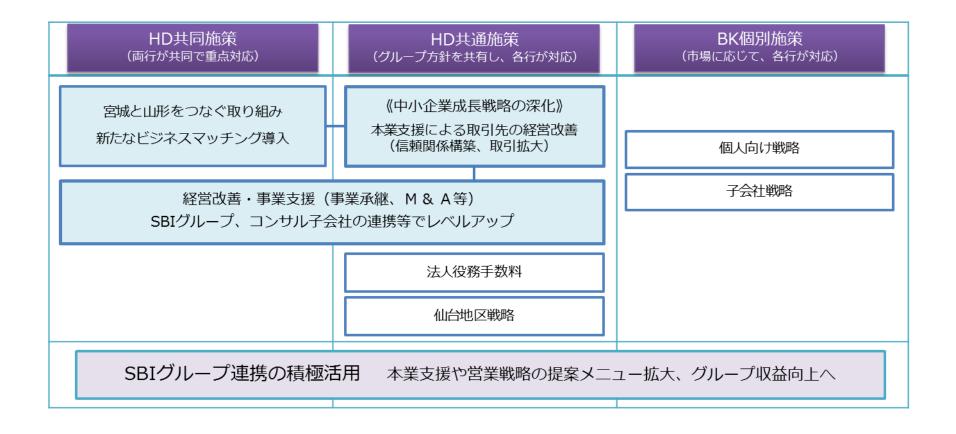
経営理念 : 宮城と山形をつなぎ 本業支援を通じて 地元中小企業や地域に貢献

計画方針 : コロナ禍へ対応 / グループの強みに特化 / じもとHD、次の5年・10年へ

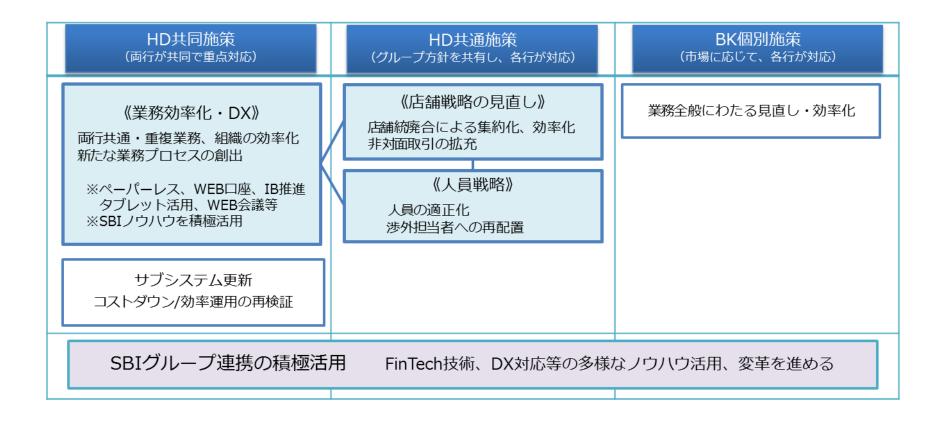
本業支援の深化 業務変革(DX) 経営管理 新たな業務プロセス ガバナンス態勢の実効性向上 コロナ禍、いまこそ 効率化、サービス拡充 子銀行管理 / グループ監査 「本業支援 | 経営改善、事業再生 店舗戦略見直し/人員戦略 資本政策 資金繰り支援 業務プロセス見直し SDGs/ESG 仙台地区戦略 コスト削減 新しい働き方/人材育成 SBIグループ連携の積極活用 FinTech技術・外部知見 / レベルアップ・スピードアップ

目指す姿(共通価値の創造):取引先の業況改善、地域発展 → 当グループ収益改善

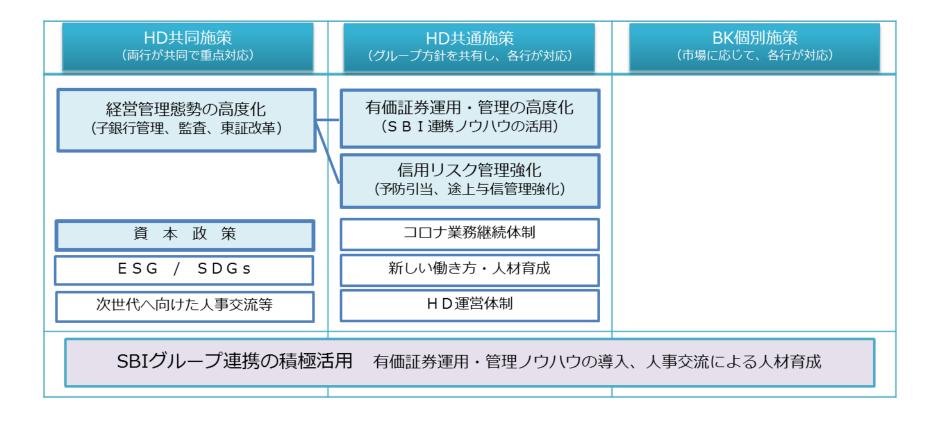
- ■「本業支援」では、子銀行の「中小企業成長戦略」を深化させ、取引先の経営改善、信頼関係構築、取引拡大につなげます。
- ■コロナ禍では「経営改善・事業支援」が重要課題。SBIグループ、コンサル子会社の連携等でレベルアップを図ります。
- ■宮城と山形をつなぐ取り組みは、新たなビジネスマッチング手法を導入するなど、両行取引先の課題解決に貢献します。
- ■グループの情報共有を密にし、共同施策を検討・追加するなど、グループ統合効果をさらに発揮してまいります。



- ■コロナ禍による社会経済の変化、急速なDXの進展などの環境変化に応じた、スピード感ある業務変革を重要課題としています。
- ■「店舗戦略」「業務効率化・DX」「人員戦略」を一体で進め、経営資源を効率的に再配分。営業体制の増強につなげます。
- ■とりわけ「業務効率化・DX」は、SBIグループのノウハウを積極活用し、グループ全体で一層の統合効果を追求します。
- ■サブシステム更新対応、コスト削減など、これまで蓄積した効率化ノウハウも継続し、経営効率化につなげてまいります。

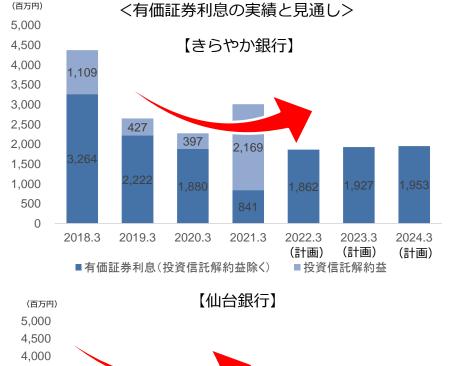


- ■子銀行の有価証券運用は、SBIグループのノウハウを積極的に活用し、運用管理体制の高度化や人材育成を進めます。
- ■信用リスク管理は、コロナ禍の中長期化に備えて、予防的な貸倒引当計上、途上与信管理の強化に取り組みます。
- ■子銀行管理やグループ監査の強化、東証市場改革への対応等により、ガバナンス態勢の実効性向上に取り組みます。
- ■グループの資本政策については、中長期的な視点も含めながら、継続的に検討を進めてまいります。

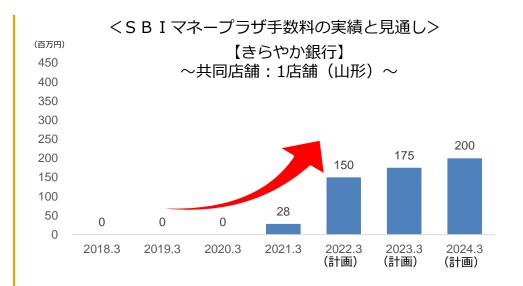


③計画の基本方針と施策 SBIグループとの主な連携状況(有価証券運用・SBIマネープラザ)

- ■【有価証券運用】SBIグループと連携し、子銀行の有価証券ポートフォリオを再構築。投資信託解約益などのキャピタルゲインに依存しない、インカムゲイン中心のポートフォリオとなりました。これにより市場変動の影響を抑えた運用計画への対応が可能となりました。
- ■【SBIマネープラザ】SBIグループとの共同店舗「SBIマネープラザ」では、SBI証券の豊富な商品ラインナップを活用し、お客さまの資産形成への ご提案・サポートが可能となりました。これにより当グループの手数料収入も着実に増加しています。











じもとHD(連結)

	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	
	始期	計画	計画	計画	始期比
コア業務純益 ※1	46億円	55億円	62億円	71億円	+25億円
経常利益	▲22億円	37億円	48億円	59億円	+81億円
当期純利益	▲31億円	31億円	37億円	45億円	+76億円
貸出金平残	1兆8,214億円	1兆8,470億円	1兆8,702億円	1兆8,936億円	+722億円
預金平残	2兆4,738億円	2兆5,039億円	2兆5,052億円	2兆5,151億円	+413億円
自己資本比率	8.1%	8.0%程度	8.1%程度	8.2%程度	+0.1%
コアOHR ※2	83.5%	80.7%	78.7%	75.8%	▲ 7.7%
ROE	▲2.7%	2.5%	3.0%	3.3%	+6.0%
顧客向けサービス業務利益 ※3	15億円	14億円	19億円	28億円	+13億円

きらやか銀行(単体)

	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3	期
	始期	計画	計画	計画	始期比
コア業務純益 ※1	20億円	31億円	32億円	38億円	+18億円
経常利益	▲43億円	15億円	20億円	26億円	+69億円
当期純利益	▲48億円	15億円	17億円	22億円	+70億円
貸出金平残	1兆302億円	1兆135億円	1兆81億円	1兆31億円	▲271億円
預金平残	1兆2,904億円	1兆2,954億円	1兆2,854億円	1兆2,754億円	▲150億円
自己資本比率	8.0%	8.1%程度	8.3%程度	8.4%程度	+0.4%
コアOHR ※2	86.3%	79.9%	79.0%	75.1%	▲ 11.2%
ROE	▲ 7.4%	2.4%	2.6%	3.2%	+10.6%
顧客向けサービス業務利益 ※3	5億円	8億円	8億円	14億円	+9億円

仙台銀行(単体)

	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3	期
	始期	計画	計画	計画	始期比
コア業務純益 ※1	30億円	28億円	33億円	36億円	+6億円
経常利益	19億円	20億円	27億円	31億円	+12億円
当期純利益	17億円	15億円	20億円	23億円	+6億円
貸出金平残	7,911億円	8,334億円	8,620億円	8,905億円	+994億円
預金平残	1兆1,833億円	1兆2,084億円	1兆2,197億円	1兆2,396億円	+563億円
自己資本比率	8.3%	8.0%程度	8.0%程度	8.0%程度	▲0.3%
⊐アOHR ※2	77.0%	78.5%	75.3%	73.6%	▲3.4%
ROE	3.4%	2.8%	3.6%	3.9%	+0.5%
顧客向けサービス業務利益 ※3	9億円	5億円	10億円	14億円	+5億円

- ※1,2 投信解約益等 = 投信解約益 + 債権売却益 ※3 顧客向けサービス業務利益 = 貸出金残高×預貸金利回差+役務取引等利益 営業経費

- ■2021年6月24日の定時株主総会において当社グループの新役員が選任され、会長に川越浩司(きらやか銀行頭取)、 社長に鈴木隆(仙台銀行代表取締役頭取)が就任いたしました。
- ■また、ガバナンス態勢を強化するため、社外取締役を新たに1名増員しました。社外取締役の様々な知見を活かしながら、 新体制のもと、新たな中期経営計画の早期実現に取り組んでまいります。

役職名	役員名	兼職等
代表取締役会長	川越浩司	きらやか銀行代表取締役頭取
代表取締役社長	鈴木 隆	仙台銀行代表取締役頭取
常務取締役	斎藤 義明	仙台銀行代表取締役専務
常務取締役	川村 淳	きらやか銀行取締役
取締役	太田順一	仙台銀行代表取締役常務
取締役	鈴木 誠	きらやか銀行代表取締役専務
取締役	尾形 毅	仙台銀行取締役
取締役	内田 巧一(新任)	きらやか銀行常務取締役
取締役(社外)	大山 正征	株式会社ユアテック顧問
取締役(社外)	半田 稔	弁護士
取締役(社外)	長谷川 靖 (新任)	地方創生パートナーズ株式会社執行役員事務局長
取締役監査等委員(常勤)	遠藤 宏	
取締役監査等委員(社外)	伊藤 吉明	公認会計士
取締役監査等委員(社外)	髙橋 節	元山形県副知事
取締役監査等委員(社外)	今野 純一	元宮城県総務部長



3. きらやか銀行の取組みについて

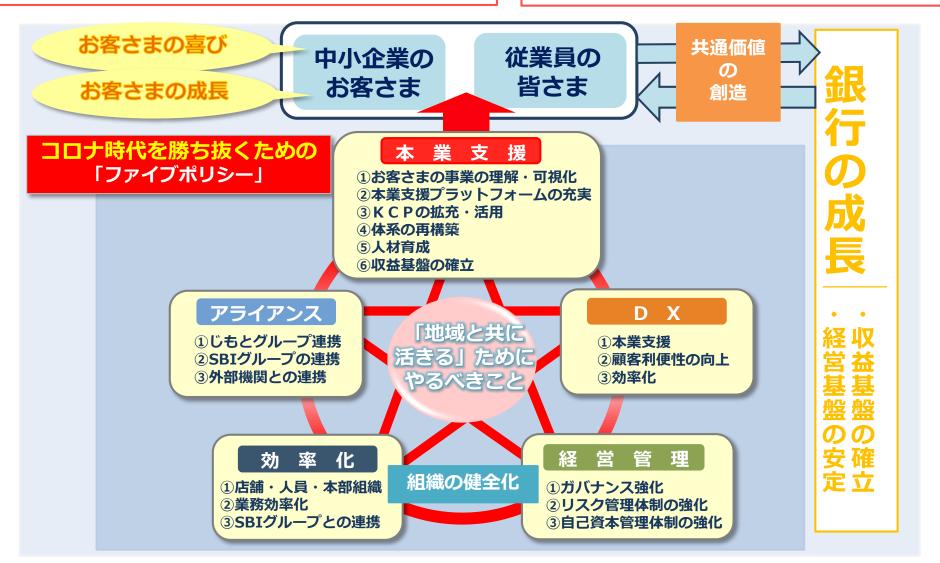


経営理念

▶本業支援を通じて地元の「中小企業」と「そこに働いている」 従業員の皆さまから喜んでいただき地域と共に活きること。

目指す姿

▶「本業支援業の確立」を通じて経営理念を表現し、 地域と共に活きる



当行がすべきこと

= 本業支援によるお客さまの稼ぐ力の強化に向けた組織的・継続的な取組み



地域経済エコシステムの「好循環ループ」の実現:当行による中小企業の営業CFの組織的・継続的な改善への取組みが起点となり、企業業績、 従業員所得、雇用がプラスに働き、その結果新たな設備需要、消費行動が促されることで地域経済が活性化に貢献します。

く本業支援実績>

本業支援プラットフォー

-14								
	項目	2020年3月期	2021年3月期	前年度比				
\prod	財務の本業支援:資金繰り支援/CF改善	2,311件	2,328件	+17件				
$\Big\}\Big[$	成長の為の本業支援: 販路支援/仕入支援/生産性支援/人材育成支援/事業・創業支援 経営戦略支援/業者紹介支援 等	1,096件	946件	▲150件				
	福利厚生の本業支援:ふっくりパッケージ(従業員さま向け福利厚生サービス)	1,103件	1,210件	+107件				
	経営管理の本業支援:共に活きるクラブ(プレミア本業支援/きらやかアプリ 等)		1,556件					
	本業支援成約先数	3,252件	3,334件	+82件				
	本業支援成約件数	4,830件	4,776件	▲54件				

福利厚生の本業支援 ふっくりパッケージ

銀行が、本気で考えた 福利厚生パッケージ

√ 社長の皆さま!/

従業員の皆さまに充実した 福利厚生サービスをご提供いたします。





ふつくりパッケージの魅力

従業員の皆さまの笑顔を増やします!



どんどんサービスを拡充してまいります!

【ふっくりパッケージ契約先数】: 1,210先

(2021年3月末)

経営管理の本業支援 共に活きるクラブ

共に活きるクラブの魅力

当行がいつもそばにいて、 お客さまとともに歩んでいきます!!

> 経営デザインシートを一緒に作成し、 将来を一緒に考えます!

> > 経営管理の 本業支援

共に活きる プレミア クラブ 本業支援

きらやか アプリ

· 1,556先 【共に活きるクラブ契約先数】

(2021年3月末)

【成約件数】

24件

※2020年10月~

2021年3月

★きらやかアプリのサービス

毎日お届け!

□コンシェルジュ

月1回開催!

- □オンラインセミナー
- □プレミア本業支援
- □人材紹介
- □ビジネスマッチング

コロナ禍の取組み

コロナ禍でのご相談もおまかせください!

●色々なお悩み解決のため担当者を増員 しました!!

✓ KCP(※)のコンサル担当者増員

※きらやかコンサルティング&パートナーズ (当行のコンサル子会社)

15名

2021年4月

これまで以上 にお手伝いし ます!

●様々な補助金申請もお気軽にご相談 ください

ものづくり

2020年3月

観光事業

事業再構築

etc.

第一回目

事業再構築補助金の

サポート 当行営業店と本部が連携し、 しっかりとお手伝いいたします!

·申請 24件

・採択 **7**件

<実際にご相談いただいたお客さまの声>

きらやかアプリから気軽に相談でき、事業書策定も 一緒になって考えてくれたので、非常に助かりました。

共に活きるクラブ会員さま向け 事業再構築補助金セミナー 開催!

当行担当者より補助金につ いての説明を行いました。



詳しくは…

【きらやか銀行HP】:https://www.kirayaka.co.jp/

事例紹介

本業支援業の確立に向けて ~共通価値を創り出す伴走支援~

中村塗料販売株式会社様



- ▶1951年創業、山形県酒田市に本社を置く。
- ➤卸売業

(建設塗料や自動車補修用塗料を中心)

➤2020年6月に当時常務であった伊藤様が 社長となり事業を引き継ぐ。



中村塗料販売株式会社 社長 伊藤 祐介様より

創業は1951年で、きらやか銀 行には長年に渡りお世話に

なっております。私は2020年6月に社長に 就任したばかりで、コロナ禍の中、当初は 毎日が不安でありましたが、経営に対する 様々なアドバイスにより、その不安を取り 除くことが出来ました。

社長様の 想い

コロナ禍の中経営が不安であるが、利益を上げて これからも会社を継続していくため経営を強化していきたい

Point1

✓経営管理の本業支援による課題共有化

経営や財務について、金融機関から具体的なアドバイス等を受けたいとの希望から、「共に活きるクラブ」「共に活きるパッケージ(※)」を提案

- ▶事業性評価や経営会議の定期開催により、事業計画の進捗とともに 社長様の悩み・課題を共有し、解決をお手伝い
- ※共に活きるパッケージ:特別な研修を受けた経営財務コンサルタント(ともコン)を 持つ担当者より提供する、あんしんな経営を支援するサービスです。

Point2

✓財務の本業支援による資金繰りの安定化

タイムリーかつ適切な資金対応により、手許資金確保と資金繰り安定化

▶本業に向かう時間を創出

Point 3

∨成長の為の本業支援による稼ぐ力の強化

当行の持つノウハウやネットワークを活用し、稼ぐ力強化のお手伝い

- ➤販路開拓…コロナ関連新商品(抗菌テープ)の販売先として 当行取引先紹介
- ▶補助金申請支援…プロパンガス車導入に伴う補助金申請支援
- ▶内部規定の整備…就業規則見直しにより、社内体制を強化

■DX推進

- ➤本業支援やお客さまの利便性向上につながる DXを積極推進してまいります。
- ➤行内の業務効率化やコロナ禍の環境に合致した DXに取り組んでまいります。

デジタルチャネルの強化 ビッグデータの活用

- ①ネット完結型商品導入
- ②WEB口座開設
- ③IB機能拡大
- ④取引法人のビッグデータの活用

本業支援

最新ICT技術情報の 取込み

- ①外部サービスとの連携強化
- ②複数サービス掛け合わせでの 相乗効果

既存インフラの見直し

- ①アプリバンキング導入
- ②クラウドサービス活用

顧客 利便性の 向上

決済機能の強化

- ①〇〇ペイとの連携拡大
- ②SuicaやWAON等の 交通系・小売系との連携
- ③ローソン銀行との連携

効率化

行内業務のデジタル化

- ①タブレット導入によるテレ ワーク・モバイルワーク実現
- ②WEB会議との連携
- ③ペーパーレス
- 4 ワークフロー・電子稟議

■SBI連携

どんどん連携してまいります!

- ▶お客さまへの本業支援につながる連携を積極的 に進めてまいります。
- ➤SBIグループの持つ知見やノウハウを活用し、 DXでの推進も強化してまいります。

SBI連携

当行の 有価証券運用

□安定した運用への 連携 ペーパーレス

□電子稟議サービス (承認Time) 補助金申請

□ネットでの助成金 検索、申請

SBI マネープラザ

□担当者増員に よる営業強化 ファンド出資

□幅広いファンドの 活用 無料 ECサイト開設

ビジネス マッチング

□SBIとの連携に よる取引先紹介 勤怠管理

クラウド型勤怠管理 (勤怠Reco) オンライン セミナー

|SBIを講師とした | DXセミナー等

□:取組み内容



4. 仙台銀行の取組みについて



当行が目指す姿

"人で勝負する銀行"を発展させ、本業支援を通じて、地元の復興と活性化に貢献する

中期経営計画のスローガン

人で勝負する銀行の深化 ~ Speed & Challenge ~

お客さまの経営課題を聞く機会を増やし、**スピード感**のある対応を強化するとともに、お客さまの多様なニーズに 応える本業支援や、新たな生活様式への変革、業務効率化や渉外人員増加による営業力強化に**チャレンジ**します。

IT・FinTechの活用/新分野への取組み

顧客利便性向上 業務効率化 (非対面サービスの充実) (デジタル化を基点としたBPR)

データの蓄積 分析・活用

DXの実現・SBIグループとの連携

トライアングル戦略

コア戦略の推進/中小企業向け貸出増強

渉外人員増加と スピード回答で コア取引先を増加

重点先への 本業支援強化 消費者ローンの 推進

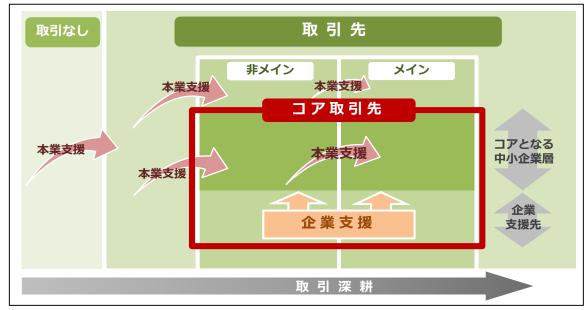
本業支援サイクル確立・メイン化推進

当行・お客さま・地域社会の持続的な成長の実現へ

コア戦略とは

当行の取引の中核となる取引先を定め、本業支援による課題解決・複合取引の拡大により取引の深化を図るとともに、新規・創業先を含む取引先のシェアアップ、ランクアップを図ることで顧客基盤の強化を目指す戦略。

<コア戦略のイメージ図>



- ✓ 取引先の経営課題・事業ニーズを聞き取りする「本業支援ヒアリング」実施
- ✓ 営業店・本部で個々の取引先に最適なメニューを協議する「本業支援ミー ティング」を実施 ⇒ 本業支援サイクルの確立を図る

<主な本業支援メニュー>

資金繰り支援	事業・創業支援	販路開拓・商談会	ビジネスマッチング		
事業承継・M&A	私募債	不動産支援	各種ソリューション		
生産性向上支援	人材育成支援	経営支援プラットフォームSendai Big Advance			

■ 事業債務者数 (人) 9,000 8,500 8,000 7,500 2019/3末 2020/3末 2021/3末





■ 貸出金利息収入



新型コロナウイルス感染症への対応

■「対策支援チーム」「対策本部」による支援体制継続

コロナ関連融資(~2021/3)	実行額
プロパー対応	131億円
保証付対応	810億円
(うち実質無利子・無担保)	618億円

■ 政府系金融機関との連携による 資本性劣後ローンによる事業再生支援

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた取引先に対して、財務基盤強化のため、政府系金融機関と連携し資本性劣後ローンを導入(取組み実績 22件)

■「事業再構築支援補助金」申請支援

新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況下にある 中小企業・個人事業主等に対して、補助金を活用し抜本 的な事業再構築を支援するもの。補助金を利用する取引 先に対して、事業計画の策定支援を実施。

▶<u>新型コロナウイルス感染症の影響を受けた取引先などにおける</u> 早期の事業再建をサポート!

Sendai Big Advance クラウド型 本業支援プラットフォーム



- ▶ 全国提供金融機関 69金融機関 (※いずれも2021年5月末時点)
- ▶ 全国会員企業数 53,000社以上
- ▶ パートナー企業 1,300社以上
- ▶ 全国ユーザー数(従業員含む) 131,000人以上
- ▶ 「商談依頼」全国月間4,300件以上(※2021年5月月間)

パートナー企業として地方公共団体との連携強化

震災から10年の節目にあたり、 Big Advanceの会員ページ内 に、宮城県内各地方公共団体が 運営するウェブサイトを紹介す る特設ページを作成し情報発信 を行いました。



【じもとグループ合同開催】『食の魅力』発見商談会2021

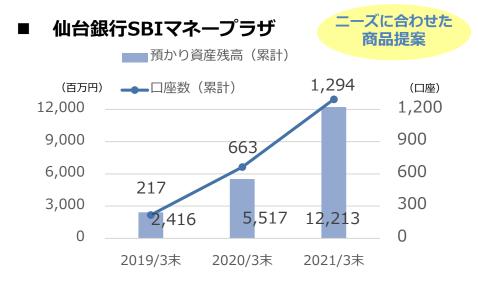
2021年3月、山形と宮城のバイヤーと サプライヤーをつなぎ、販路・仕入先の 拡大を図ることを目的に、じもとグルー プ合同で商談会を開催しました。

コロナ禍で販促活動が抑制されるなかで の対面開催には、「具体的な商談ができ た」「職員の同席が心強かった」など感 想をいただきました。



感染予防対策を十分に講じ 仙台銀行の会場には14社が参加

SBIグループとの連携

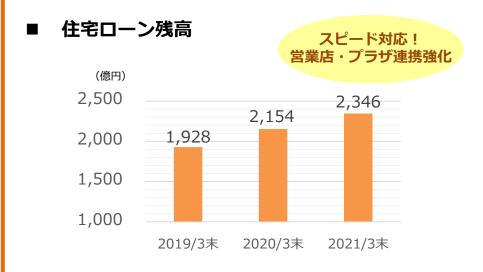


■ SBIグループとの連携で 更なる相乗効果の発揮を目指す!

連携先	内 容	
	有価証券運用ノウハウ習得のため職員派遣	
	事業承継・M&Aに係る業務提携	
SBI証券	M&Aスキル向上のため職員派遣	
	個人型確定拠出年金(iDeCo)取扱い開始 ⇒Web手続きが容易に	
SBI生命	経営者向け団体信用生命保険 「サポートみやぎ・安心プラス」取扱い開始	
SBIインベストメント	組成ファンドへの出資 ⇒出資先との協業による新たなサービス展開を目指す	

住宅ローンの推進

- 住信SBIネット銀行の住宅ローン商品の取扱い開始
 - ▶ 住信SBIネット銀行の商品について、当行住宅ローン プラザからご相談・お申込みが可能に
 - 『ミスター住宅ローンREAL』変動金利 金利上乗せなく全疾病保障が付けられる
 - ・ 『フラット35(買取型・保証型)』長期固定金利
- MG保証付き住宅ローン商品の取扱い開始
 - ➤ MG保証株式会社の保証付き住宅ローン
 - 取扱基準・要件に幅広に対応
 - 一定の条件下で、500万円までの消費性他債務を 一本に包含できる『住宅ローンプラス』



- デジタル化等の顧客ニーズに見合った施策、システムを通じた業務効率化などを実施
- ▶ 中長期的な目線での計画で、顧客利便性向上・業務効率化・データ分析活用高度化によりDX実現に繋げる

	モバイルファースト戦略	非対面・キャッシュレス化の整備		
顧客利便性向上		主要取引・手続きがスマホ等で可能		
	コラボレーション戦略	提供サービスで顧客満足度を向上		
	ATM合理化戦略	店外ATMの合理化 → 運用コストを削減		
業務効率化	システム最適化計画	事務のデジタル化 → 事務量軽減、定型事務従事者削減		
		新ビジネスへの投資余力を確保		
	成長投資比率向上戦略	捻出したリソースを対面営業や新ビジネスに配分		
働き方改革戦略		時間や場所に囚われない柔軟で効率的な働き方・環境整備		
データー元化戦略		顧客データをCRMシステムに集約		
データの集積 分析・活用		客層別の取引方針立案が可能		
	データ活用戦略	データに基づく営業活動を全行的に浸透		

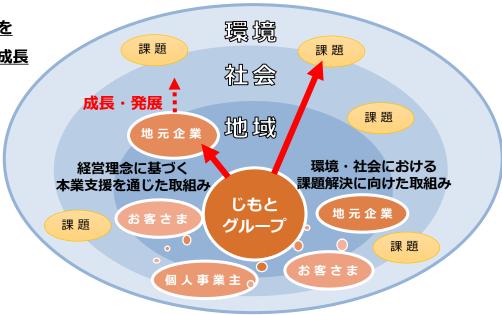
5. 持続可能な社会の実現に向けた取組み



じもとグループでは、<u>経営理念「宮城と山形をつなぎ、本業支援を</u> <u>通じて、地元中小企業や地域に貢献する」のもと、地元中小企業の成長</u> を支援し、地域の持続的発展に貢献することを目指しております。

同時に、地域をリードする一企業として、地域の持続的発展の 妨げとなる環境・社会における様々な課題の解決を図るため、 ESG(環境・社会・企業統治)及びSDGs(持続可能な開発目標) の観点に基づく取組みを実施しております。





▲ 持続可能な社会の実現に向けた取組みのイメージ図

きらやか銀行 社会貢献の本業支援「子ども支援」定期預金に係る寄付金の贈呈

当行で取扱いを行っております「子ども支援定期預金(法人版)」「子ども支援定期積金」「子ども支援定期預金(個人版)」について、多くのお客さまからご協賛をいただき、3商品の合計残高が目標額の150億円に到達したため、山形県社会福祉協議会へ寄付金として贈呈を行いました。寄付金は山形県社会福祉協議会を通じて子ども食堂や地域食堂、学習支援に取り組む県内の団体等へ贈られ、累計で150万円となっております。



贈呈式の様子

仙台銀行 公益信託仙台銀行まちづくり基金

まちづくり基金は当行創業40周年記念事業として1992年に 創設した公益信託による基金です。2020年度は東日本大震 災からの地域復興やまちづくりに取り組む宮城県内の団体等 16先に、総額300万円を助成しました。創設以来の助成累計 実績は211先、26,667,200円となります。

2020年度主な助成先の活動

- ・被災地域を発着地とする復興マラソン大会を開催(会場整備費)
- ・農業遺産を観光資源として地域活性化に活用(案内板製作費)
- ・商店街の空店舗をコミュニティスペースとして活用(施設環境整備費)
- ・アートを活用し多様性を認めるまちづくりの実践(シンポジウム開催費)





6. 業績予想と配当計画

① じもとホールディングスの連結業績予想及び配当方針

			(単位:百万円)
			(参考)
	2022年3月期	中間期	2021年3月期 実績
経常利益	3,700	1,400	△ 2,275
親会社株主に帰属する当期純利益	3,100	1,200	△ 3,176

基	準	日	中間	期末	年間
2 0	22年3月	期	10円00銭	10円00銭	20円00銭
(** *	(参考)2021年3月期		1円50銭	-	-
			1	10円00銭	-

※当社は、2020年10月1日付で、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を 行っております。また、2021年3月期の1株あたりの年間配当合計につきましては、単純合算ができないため、「-」と表示しております。

- じもとホールディングスの2022年3月期の連結業績予想は、経常利益37億円、親会社株主に帰属する当期純利益31億円を見込んでおります。
- じもとホールディングスの2021年3月期の期末配当金は、1株あたり10円としております。また、2022年3月期の年間配当金は、1株あたり20円を予定しております。配当につきましては、コロナ禍にある地元中小企業への支援に向け、十分な自己資本を確保するため、内部留保の充実化を優先させていただくものです。

② 子銀行の個別業績予想

きらやか銀行

(単位:百万円)

			(千匹・ロカロ)
			(参考)
	2022年3月期	中間期	2021年3月期 実績
経常利益	1,500	500	△ 4,364
当期純利益	1,500	500	△ 4,855

仙台銀行

(単位:百万円)

	2022年3月期		(参考) 2021年3月期
	2022年0万知	中間期	実績
経常利益	2,000	800	1,985
当期純利益	1,500	600	1,717

- きらやか銀行単体ベースでは、経常利益15億円、当期純利益15億円を見込んでおります。
- 仙台銀行単体ベースでは、経常利益20億円、当期純利益15億円を見込んでおります。